

ビオトープ事例一覧：民間

< I-a: 北総内陸区域 >

通し No.	県類 型No.	立地 タイプ	団体名	代表者名	設立年	連絡先	会員数	ビオ トープの タイプ	活動エリア	周辺 環境
				活動目的及び内容						
1	I-a, II-b	樹林地	野田の里山を 考える会	小瀧 康男	1993年	野田市山崎2361-1LG 野田梅郷S407 小瀧方	13名	保持 型	野田市周辺	農村
				野田の原風景といえる里山の価値を見直し、このような環境をまちづくりの中に積極的にとりいれることを目的としている。活動内容は、雑木林の下草刈り、休耕田の水路掘り、ホタル観察会、チョウやガの調査などである。						
2	I-a, II-a, II-b	樹林地	丸山の森を守る会	佐竹 敬一	1996年	船橋市丸山2-18-16	25名	保持 型	船橋市丸山地区	市街 地
				市街化区域に残っている樹林を保全していくことで、地域の住環境を守り、幅広くecologyを学ぶことを目的とする。						
3	I-a	樹林地	こんぶくろ池を 考える会	大貫 遵子	1995年	千葉県柏市つしが丘 4-9-9	54名	-	柏市北中央部	農村
				こんぶくろ池(小袋池)は柏市北部にある自然度の高い森に囲まれた湧水地で、本会はこの自然豊かな森、湧水を次代に残そうと発足した。月1回(第3日曜日)清掃及び観察会を実施している。						
4	I-a	樹林地	(株)三菱地所	-	-	佐倉市環境保全課・ 佐倉市海隣寺町97	-	保持 復元 型	ちばりサーチパーク内	樹林 地
				「ちばりサーチパーク」複合都市作りを佐倉市及び千葉市の両市にまたがる総面積約190.4haに整備する計画があったが、事業対象地がゲンジボタルの生息地となっていたことから、これらの生物及び植物の保全を図るため、計画の見直しを行った。						
5	I-a	農耕地	ちば・谷津田 フォーラム	中村 俊彦	1999年	千葉市中央区中央1-6-9 ちば環境情報センター内	270名	保持 型	千葉県内の谷津田 周辺	農村
				千葉県内全域の谷津田の保全に関して、農家・市民・行政・研究者等の間の情報交換と、保全に対して緊急かつ具体的行動を展開することを目的としている。						
6	I-a	農耕地	ちば環境情報センター (下大和田谷津田 プレーランド プロジェクト)	高山 邦明	2001年	千葉市中央区中央1-6-9 ちば環境情報センター内	約40名	保持 型	千葉市緑区下大和田	農村
				下大和田地区では農家の担い手などの問題から休耕田化が進んでいた。そこで農家に替わって田植えを行おうと、所有者より大小6枚の水田を借り、米作りだけではなく田んぼでの遊びを通じて田んぼの自然の良さに気づいてもらおうと様々な活動を行っている。						
7	I-a	農耕地	さくら・人と自然を つなぐ仲間 (田んぼ池の会)	神 伴之	1998年	佐倉市上志津1776-49	20名	保持 型	佐倉市畔田地区	農村
				佐倉市において人と自然との共存を進め、自然をかけがえのない共有財産として次世代に残していく。提言活動や保全にふさわしい場所での地権者の理解を得たエコアップ活動、保全のために必要な調査活動を行う。						
8	I-a	農耕地・樹 林地	下田の森の自然を 守る会	齋藤 吉弘	1975年	柏市酒井根6-5-1	18名	保持 型	柏市酒井根6丁目、 東山1丁目地区	市街 地
				自然観察会、雑木林・草地の維持管理、田んぼ・畑の管理・農作業、環境整備、施設整備、調査活動、ビオトープづくり、特定の動植物や植物群落の保護、野外活動などを行っている。特に、さかいね下田の森自然公園友の会の活動を全面的に支援している。						
9	I-a, II-b	農耕地	八千代ホテルフォー ラム	加藤 賢三	1991年	八千代市大和田新田931- 3	40名	保持 型	主として八千代市	農村
				養殖したものではない八千代の自生のホテルを21世紀に残したいと願い設立された。谷津を中心とした自然観察や学習会、講演会、夏にはホテルを見る会を実施している。また、八千代市の環境シンポジウムや環境フェア、ふれあいまつり、公民館祭へも参加している。						

ビオトープ事例一覧：民間

< I - a: 北総内陸区域 >

通し No.	県類 型No.	立地 タイプ	団体名	代表者名	設立年	連絡先	会員数	ビオト プのタイ プ	活動エリア	周辺 環境	活動目的及び内容
10	I-a, II-b	農耕 地	四街道自然同好会	市川 清忠	1989年	四街道市旭ヶ丘4-8-5	268名	保持 型	四街道市及び周辺	農村	自然観察会等を通して自然保護思想の普及を目的とする。活動内容は、自然観察会を毎月3回、市・公民館主催の自然観察会年3回以上、PTA主催の講演会等、市主催講演会、生協・ボーイスカウト等の自然観察会や環境セミナーへ講師派遣、自然観察路の清掃などである。
11	I-a	農耕 地	酒々井町蛍の里を 守ろう会	米井満	1989年	酒々井町中央4-11・ 酒々井町役場総務課内	36名	保持 型	酒々井町	農村	酒々井町の豊かな自然環境を守り育て、次代に引き継ぐため、蛍を通じ様々な活動を行うことを目的としている。活動内容は、蛍の飼育及び生態観察、蛍生息地の環境保全、蛍の普及とPR(蛍観賞会等)、その他自然観察会などである。
12	I-a, II-a, II-b	農耕 地	ほたる野を守る ボランティア グループNORA	小野 岩男	1993年	井上千恵子 習志野市秋津2-6-7-304	50名	保持 型	実籾自然保護地区	市街 地	ヘイケボタルの自生地を守ることを目的とする。活動内容は、休耕田の開墾・ホタルのエサの保持、増殖・農作業を年間通して子供たちへ参加呼びかけ・田起こし、田植えまつり、ほたるまつり、収穫祭などである。
13	I-a	農耕 地	八千代市 ほたるの 里づくり実行委員会	加藤 賢三	1998年	八千代市大和田新田931-1	市民:356 名(他家 族会員8 名)、団 体:7団体	復元 型	八千代市米本地域	農村	市民、企業及び行政の三者が協力し合って、沢山のホタルが飛び交っていたかつての田園風景を取り戻すことをスローガンに取り組んでいる。活動内容は、ほたるの里の環境整備を行うと共に、ホタルを見る会や生き物調べなどの学習会を取り入れている。
14	I-a	湖沼	手賀沼にマシジミと ガシヤモクを復活 させる会	星野 保	-	川原啓祐 我孫子市東我孫子 2-15-58	-	保持 型	手賀沼流域	市街 地	市民・専門家・行政が一体となって、自然循環により手賀沼をよみがえらせるため、シンボルとしてのマシジミとガシヤモクを手賀沼に復活させることを目的としている。
15	I-a	湖沼	水と土・手賀沼の会	芳野 よしい	1978年	柏市松ヶ崎224-4	50名	保持 型	柏市	市街 地	手賀沼の水の浄化を目的としている。活動内容は、資料収集、調査、研究発表、機関紙「手賀沼駅弁里村通信」隔月発行、例会2カ月に1回、調査研究の情報交換、「手賀沼展」毎年秋、柏市文化祭の一環として、同じ目的の会と連動などである。
16	I-a	湖沼	湖北座会	星野 保	1983年	我孫子市中峠1304	90名	保持 型	旧湖北地区	市街 地	湖北の良風を末永く存続させると共に、地域の自然・生活環境の保全を図り、地域のより良き将来づけを研究することを目的としている。活動内容は、自治大学講座又は講演会開催、古代米作りによる小・中学生の体験学習、手賀沼浄化活動への積極的な取り組みなどである。
17	I-a	湖沼	甚兵衛の森を 守る会	谷 照雄	1979年	成田市下方1379	600名	保持 型	甚兵衛の森周辺	農村	印旛沼周辺の自然景観を保全し、甚兵衛渡しの旧跡が残る森を保護することにより後世に優れた自然環境を伝えることを目的とする。活動内容は、活力剤の注入、発育促進のための施肥、松くい虫の被害防止のための薬剤散布、植林の実施などである。
18	I-a, II-a, II-b	湖沼	トンボを育てる会	藪内 俊光	1994	船橋市上山町3-634-22大 西方	100名	復元 型	船橋市周辺	市街 地	トンボを通じて地域の環境保全を計ることを目的とする。活動内容は、プールに棲むヤゴ救出作戦(5月~6月)、体験トンボ池づくり(7~10月)、Re.upせせらぎ作戦、雨水利用でビオトープ、写真展、自然観察会などである。

ビオトープ事例一覧：民間

< I-a: 北総内陸区域 >  
 < I-b: 銚子区域 >  
 < II-a: 京葉臨海区域 >

通し No.	県類型 No.	立地タイプ	団体名	代表者名	設立年	連絡先	会員数	ビオトープのタイプ	活動エリア	周辺環境
19	I-a	湖沼	美しい手賀沼を愛する市民の連合会	星野 保	1995年	千葉県我孫子市中峠1304	24団体	復元型	手賀沼流域	市街地
沼と共に生きる周辺地域の自然・生活のより良きあり方を学習し美しい手賀沼によみがえらせることを目的とする。活動内容は、学習会の開催、情報の収集・交換および提供、手賀沼浄化、環境保全・整備についての提言、市民および関係機関との連携強化などである。										
20	I-a	公園	礪子水の自然を育てる会	佐藤 晶子	1996年	佐藤清美、晶子 鎌ヶ谷市中央1-2-8	約30名	保持型	鎌ヶ谷市	市街地
礪子水公園内における湧水や森林の保全を目的としている。										
21	I-a	公園	鷹匠ビオトープの会 (湧水ボランティア・ さくら人と自然をつなぐ仲間)	西尾 伸也	2000年	佐倉市白銀1-23-5	25名	保持型	佐倉市城址公園内	市街地
サワガニを育む鷹匠清水の自然を守り、子供達に伝えていくため、鷹匠の生物調査を行い、生き物の様子をみながらビオトープづくりを進める。活動内容は、生物調査、池や川の整備、草刈り、雑木林づくりなどである。										
22	I-b	海岸	銚子自然保護協会	丹野 正伸	1986年	銚子市犬吠埼9565-4 丹野方	約6名	保持型	君ヶ浜など、銚子周辺	市街地
昭和61年に、犬吠埼の北側にある君が浜という砂浜における、公園計画が銚子市によってスタートした。これを機に、犬吠周辺の国定公園特別地域を保全しつつ自然教育の場として整備し、併せて新しい発想の観光拠点とすることを行政に提案していこうと、同会が結成された。										
23	I-b	海岸	銚子・自然を楽しむ会	鶴岡 繁	1972年	銚子市松本町1-7-6	20名	保持型	銚子付近の海岸	市街地
「自然をこれからもずっと楽しむためには、保護をしていかなくてはいけない」と、教員や有志が集まり、昭和47年、「銚子・自然を楽しむ会」が結成された。海岸植物の保護、食虫植物の保護、海岸の草刈りなどを行っている。										
24	I-b	海岸	銚子市民運動ネットワーク	戸石 四郎	1990年 (70年設立、名称変更)	銚子市君ヶ浜8705-3	20名	復元型	銚子市東部海岸地域	樹林地
国定公園地域である犬吠埼・君ヶ浜一帯の保全、再生、自然教育公園化を目指し、地域の環境保全活動の一環として活動している。										
25	II-a, II-b, IV-a, IV-b	樹林地	里山クラブ市原	久保寺 昭雄	1989年	田村勉 市原市馬立1063	120名	保持型	市原市・大多喜町	農村
自然憲章を心とし、不偏不党にしてイデオロギーなどに関係せず、自然を愛する市民とボランティア精神をもって事業を進め、大切な自然と水の子孫に伝えることを目的とする。活動内容は、里山の整備・保全、自然観察会の実施などである。										
26	II-a, II-b, IV-a, IV-b	農耕地	ホタル会	加藤 栄男	2000年	市原市草刈981 加藤方	67名	復元型	市原市草刈	農村
地域の自然に係わる多様な活動をしてゆく会として、自然の象徴であるホタルの名を借り、地域有志で活動を行っている。活動内容は、「ほたるの里」を建設、購入した幼虫を放流、現在は隣の休耕田に「とんぼ池」の建設準備中である。										
27	II-a	農耕地	市原トンボ池の会	岡 嘉弘	1996年	千葉県市原市惣社5-1-7	25名	保持型	市原市中部	農村
開発や残土・廃棄物で失われていく里山自然を守り、育もうという主旨で、設立された。市原市宿にある休耕田(谷津田)を活用したトンボ池の整備、(広さ約3000㎡)月1回(第4月曜日)定例会を開催し、トンボ池および周辺環境整備、観察会などを行っている。										

ビオトープ事例一覧：民間

< II-a: 京葉臨海区域 >

通し No.	県類 型No.	立地 タイプ	団体名	代表者名	設立年	連絡先	会員数	ビオト プのタイ プ	活動エリア	周辺 環境
				活動目的及び内容						
28	II-a, II-b	河川	下泉・森のサミット	鈴木 優子	-	千葉市稲毛区園生町449-1-107	-	保持型	鹿島川流域	樹林地
				私達の飲み水となる鹿島川の流域に水源涵養林づくりを目指すことを目的とする。活動内容は、森づくりの作業、活動資金づくりのための物品販売、雑木林講座、ドングリの里親募集などである。						
29	II-a	河川	都川の環境を考える会	中居 賢一	1994年	千葉市中央区矢作町328-1 清水方	30名弱	-	千葉市中央区、若葉区	市街地
				千葉市の中心を流れる都川及びその周辺地域の環境問題への取り組みを主に活動している。・月1回のゴミ拾い、視察会、要望、提案(公園計画等へ)。・啓蒙活動(行政と連携)						
30	II-a	干潟	盤洲干潟を守る会	藤平 量郎	1989年	君津市久留里市場23	約20名	保持型	盤洲干潟	市街地
				小櫃川河口域(盤洲干潟)をこのままの姿で保全することを目的とする。活動内容は小櫃川河口域清掃を年2回、観察会を年7回行っている。						
31	II-a	干潟	三番瀬を守る会	田久保晴孝	1993年	船橋市海神4-28-11 鈴木方	250名	保持型	船橋市、市川市	市街地
				三番瀬を埋め立てから守ることを目的とする。活動内容は、毎月第一日曜日に「千葉県野鳥の会」などと一緒に三番瀬自然観察会を実施している。年6回会報「三番瀬だより」を発行している。						
32	II-a	干潟	特定非営利活動法人 三番瀬環境市民センター	安達 宏之	2001年	市川市末広2-7-1-102 安達方	20名	復元型	市川市、船橋市の海岸周辺	市街地
				当センターは、市川市及び船橋市、浦安市地先に広がる浅海域である東京湾三番瀬の環境を保全し、住民が良好な自然の海辺を享受できるようなまちづくりを行うことを目的とする。三番瀬に関する政策提言、調査研究、普及啓発、交流、保全事業等を行っている。						
33	II-a	その他(埋立地)	幕張ベイトウンにエコパークを作る会(幕張ベイトウン自治会連合会特別委員会)	小川かほる	1999年	千葉市美浜区打瀬2-17バティオス18-208	50名	復元型	千葉市美浜区打瀬	市街地
				当会が活動対象地とする「エコパーク」は、千葉市美浜区の幕張ベイトウンにある「うたせふれあい緑地」内にあり、自然にふれ、自由に遊ぶ場としての「エコパーク」を作ることを目的とする。						
34	II-a	その他(埋立地)	行徳野鳥観察舎友の会	東 良一	1979年	市川市塩浜4-2-21-1401 大関様方	240名	復元型	市川市 行徳鳥獣保護区	市街地
				行徳野鳥観察舎の利用者間の親睦と保護区を守り育てることを目的に結成された。主な活動内容は、行徳野鳥観察舎利用者の相互親睦を深め、利用の便を図り、行徳鳥獣保護区の自然環境の保全、改良に協力する。自然観察会、会報「すずがも通信」の発行など。						
35	II-a	その他(工場)	クボタ船橋工場	中谷 政昭(環境安全課長)	1960年(昭和35年)	船橋市栄町2-16-1	648名	復元型	船橋工場内	工業地域
				1998年7月に国内の鉄管メーカーとしては発のISO14001の認証を取得し、従業員の環境への意識が高まった。この意識を維持し、目に見える形で残したいという思いから、1999年の春にISO4001活動のシンボルとして工場の緑地内に120㎡(8m×15m)の長方形型のトンボ池を作り、その池一帯を「クボタ船橋の森」と名付けた。						
36	II-a	その他(工場)	東京電力千葉火力発電所	横山 敏明(土木建築設備グループ課長)	2003年3月完成予定	千葉市中央区蘇我町2-1377 東京電力(株)千葉火力発電所 千葉工事事務所	-	復元型	発電所敷地内	工業地域
				発電所敷地東側の約18万㎡の緑地を「地域の共生エリア」として整備し、その中心部分の2.7haにコアジサシのための営巣地を設けた。また、この「地域共生エリア」は現在工事中であり、平成15年4月以降、一般開放する予定である。						

ビオトープ事例一覧：民間

< II-a: 京葉臨海区域 >

< II-b: 京葉内陸区域 >

通しNo.	県類型No.	立地タイプ	団体名	代表者名	設立年	連絡先	会員数	ビオトープのタイプ	活動エリア	周辺環境
37	II-a	その他(工場)	サッポロビール(株)千葉工場	林(総務部)	1999年	千葉県船橋市高瀬町2番	—	復元型	当工場敷地内	工業地域
<p>活動目的及び内容</p> <p>千葉工場ビオトープ園は、環境保全の取り組みの一環として、更地と駐車場になっていた部分を造成し、池・樹木・緑地を設置して、昆虫・野鳥・魚等いろいろな動植物が自然共生できるような自然環境を整えた。自然環境体験学習ができるよう一般に開放している。</p>										
38	II-b	樹林地	関さんの森を育む会	関 美智子	1996年	松戸市幸谷131	50名	保持型	松戸市北部地域	市街地
<p>地域に残された森(関家から財団法人埼玉県生態系保護協会に寄付された屋敷林1.1ha)を豊かな森に育み次世代へ残すための活動を行っている。月2回(第二木曜、第三日曜)森の作業及び観察会、タケノコ掘り、そうめん流しなど森の楽しみ方を分かち合っている。</p>										
39	II-b	樹林地	丸山サンクチュアリ	三神 鶴吉	1985年	船橋市丸山2-17-7	170名	保持型	船橋市法典地区	市街地
<p>自然を愛する人づくりを目的とする。活動内容は、自然観察会を毎月1~2回、森のボランティアで毎月4回ビオトープづくり、野鳥の森、カブトムシ牧場、昆虫と野鳥のための野草園と花木園づくり、毎月会報を発行などである。</p>										
40	II-b	農耕地	プロジェクトとけ「谷津田創り隊」	高山 斎一郎	1999年	千葉県市緑区越智町705-292	60名	保持型	大藪北谷津など、土気周辺	農村
<p>「プロジェクトとけ」は取り組み課題ごとに「プロジェクト」をつくり活動している。現在、取り組んでいるプロジェクトは5つである。谷津田に関する活動は「村田川プロジェクト」、「谷津田創造プロジェクト」で行われている。</p>										
41	II-b	農耕地	緑のみずがき隊	高橋 窈	1998年	千葉県市川市市川4-2-3	14名	復元型	市川市	市街地
<p>ホテル、トンボなどの生息する水辺と、水辺をとりまく自然生態系を復活させ、もって身近な自然に対する隊員自身とその他の人々の意識を高揚することを目的とする。</p>										
42	II-b	農耕地	実籾郷(さと)の会・実籾の自然を守る会の名称変更(1998年)	小川 嘉一郎	1994年	時田 尚敏 習志野市実籾2-16-53	180名	復元型	習志野市実籾地区	市街地
<p>習志野に残された唯一の谷津田であり、周囲の傾斜林と共に次代の子供達に30年~40年前まではこの様な形態の中で生活を営んでいたという歴史を伝えていくことを目的としている。</p>										
43	II-b	河川	小櫃川源流域の自然を守り育む連絡会(七里川溪谷を守る会)	佐野今朝雄	1997年	御簾納 照雄 君津市向郷681	50名	保持型	小櫃川流域	樹林地
<p>千葉の4つの団体が発起人となり、小櫃川源流域七里川溪谷の追原周辺のダム建設などに反対して自然を守ること、また小櫃川源流域とその周辺に生活し、これまでその自然を保全してきた地域の人達の心と生活を尊重することを基本方針として発足した。</p>										
44	II-b	公園	じゅんさい池にジュンサイを残そう市民の会	松田 仁絵	1982	市川市中国分4-7-15	—	復元型	市川市中国分 じゅんさい池緑地	市街地
<p>都市公園「ジュンサイ池緑地」のジュンサイ池にオニバスを移植している。</p>										
45	II-b	その他(調整池)	市川緑の市民フォーラム	佐野 郷美 (事務局長)	1989年	市川市曾谷7-24-3	230名	保持・復元型	市川市	市街地
<p>市川市における自然環境保護団体間のネットワークづくりを主な目的として、設立された。団体間のネットワークを基に、市川市を再び緑豊かで住みやすく、文化の香り高く落ち着いた雰囲気のある街とするために、市川市や千葉県に働きかけを行うことを更なる目的としている。</p>										

ビオトープ事例一覧：民間

<Ⅱ-b:京業内陸区域>  
 <Ⅲ-a:九十九里臨海区域>  
 <Ⅲ-b:九十九里内陸区域>

通しNo.	県類型No.	立地タイプ	団体名	代表者名	設立年	連絡先	会員数	ビオトープのタイプ	活動エリア	周辺環境	活動目的及び内容
											活動目的及び内容
46	Ⅱ-b	その他(施設内)	東京電力 新木更津変電所	—	2001年	木更津工務所 木更津市下郡羽黒	—	復元型	木更津市下郡羽黒	市街地	自然との共生をめざす目的で変電所内に約2万平方メートルのビオトープを整備した。残土置き場に植樹を行い、林地の復元を図ったのははじめ、調整池などを利用して野生の植物、小動物が生息できる空間を確保した。
47	Ⅲ-a Ⅲ-b	樹林地	史跡飯高壇林を守る会	佐藤 剛雄	1977年	八日市場市飯高1789 飯高寺内	約400名	—	八日市場市飯高壇林	農村	千葉県指定史跡飯高壇林跡を保護することを目的としている。活動内容は、飯高寺境内山林の草刈りや清掃及びばたん園の管理や杉苗の植樹などの環境美化活動、またゴミゼロ運動や近隣の消防団との防火訓練などである。
48	Ⅲ-a	農耕地	白子町自然環境を守る会	兼平 隆	1993年	白子町中里2858-6	23名	復元型	白子町	農村	ヘイケボタル、ゲンジボタルの飼育を行っている。自然環境が農業等により破壊されつつあり昔ながらの自然を取り戻すことを目的とする。活動内容は、ゲンジボタル及びヘイケボタルの飼育(会員23名による卵から飼育活動、1年間)などである。
49	Ⅲ-a	海岸	九十九里浜の自然を守る会	長島 幸孝	1999年	白子町関5074-2 白子町役場企画課	60名	保持型	白子町海岸	農村	平成10年、千葉県の条例で県立九十九里自然公園の砂浜への二輪車を含む自動車の乗り入れが規制された。乗り入れ規制の条例の普及を行うとともに九十九里海岸の稀少動植物を保護するために、平成11年白子町の企画課の呼びかけで「九十九里浜の自然を守る会」が結成された。
50	Ⅲ-a Ⅲ-b	その他(湿地)	成東・東金食虫植物群落を守る会	長谷川節子	1993	成東町殿台296 成東町役場社会教育課	—	保持型	成東町	農村	成東町・東金食虫植物群落の保全を目的とする。雑草取りや種まき等を主体とする保護運動を行っている。
51	Ⅲ-a Ⅳ-b		双葉電子工業(株)	—	1997年 (事業実施)	千葉市中央区市場町1-1 千葉県自然保護課	—	保持型	長生村金田字金谷沼地先		工場敷地内の湿地帯の乾燥化が進み食虫植物などの生育が危ぶまれたことから、県及び長生村より湿地の復元事業について要請があり、地権者である双葉電子工業(株)が事業主体となって、外来種を除去し、水分供給源を確保して湿地の復元を図った。
52	Ⅲ-b	樹林地	山武に雑木林を作る会	清水	1999年	非公開	20名	復元型	山武町会長所有の山林	樹林地	かつて山武地域に広がっていた雑木林を地元の種を使って再生していくために、会長所有の0.5haの杉林を伐採し、クヌギ、コナラなどの広葉樹を中心とした樹木の種まき、苗の移植を行っている。
53	Ⅲ-b	農耕地	千葉県の野生生物を考える会	小賀野大一	1995年	千葉市若葉区若松町 千葉南高校	10名	保持型	県北東部	市街地	千葉県北東部の谷津田において、環境の基礎調査と、トウキョウサンショウウオの保護・増殖を通じた谷津田の生物多様性の維持を目的として設立された。
54	Ⅲ-b	農耕地	桜宮自然公園をつくる会	佐野 豊三	2001年	所 英亮 多古町染井375	50名	保持型	多古町染井天井田	農村	荒廃した谷津田を里山公園として保存しようと地権者らが草刈りなどの活動を始めた。将来的にはホタルなどが生息するかつての谷津田環境の復元を目指し、環境を保全した上でトイレ、ベンチ程度の整備を行う予定である。

ビオトープ事例一覧：民間

<IV-a:内房区域>  
<IV-b:外房区域>

通しNo.	県類型No.	立地タイプ	団体名	代表者名	設立年	連絡先	会員数	ビオトープのタイプ	活動エリア	周辺環境
55	IV-a	河川	市原市川を美しくする会	石橋 道	1967年	市原市環境部環境管理課 市原市国分寺台中央1-1-1	275名	保持型	市原市内養老川流域	農村
<p>活動目的及び内容</p> <p>養老川の汚濁、不法投棄物による河川環境破壊の状況を改善しようと有志が集まり結成された。市民運動を展開し、行政へのはたらきかけを行なうようになった。昭和47年、会の名称を「市原市川を美しくする会」と改称し、村田川を含め活動を全市域へ拡大した。</p>										
56	IV-a	海岸	沖ノ島サンゴを見守る会	三瓶 雅延	1997年	館山市沼1582	60名	保持型	館山市沖ノ島周辺	樹林地
<p>「愛する子供たちに素敵な海をおくろう」をテーマに、サンゴの保護活動を通し東京湾の自然環境保全の普及啓発を行っている。主な活動は、沖ノ島干潮帯のサンゴ調査及び保護、沖ノ島のサンゴ観察会、磯の観察会、沖ノ島のゴミ拾い、機関誌「あわさんご」発行などである。</p>										
57	IV-b	農耕地	大山千枚田保存会	石田 三示	1997年	鴨川市宮山1969 みんなみの里内	約350名	保持型	鴨川市	農村
<p>棚田オーナー制度を実施し、大山千枚田を保存することを目的としている。</p>										
58	IV-b	農耕地	かずさ緑の会	朝比奈 隆	1999年	睦沢町川島14-21	約40	復元型	睦沢町市場	農村
<p>地域の自然を大切にしていきたいという思いから、設立された。体験活動(米づくり、カヌー、ウォークラリー、凧上げ、観察会など年間7回大きなイベントを行っている)、里山活動、冊子の発行などの活動を行っている。</p>										
59	IV-b	河川	大原町源氏ボタルの里を守る会	元吉 貞夫	1989年	大原町大原7400-1 大原町環境衛生課	約230名	保持型	大原町山田地区(山田川)	農村
<p>大原町と協力して河川浄化に取り組んでいる。活動内容は、ゲンジボタル観賞会、河川敷の草刈り、水路の保全活動、カワニナの放流などである。</p>										
60	IV-b	海岸	夷隅郡市自然を守る会	大藪 健	1990年	手塚 幸夫 大原町大原7952	125名	保持型	勝浦、一宮、岬、大原、夷隅、御宿	農村
<p>ミヤコタナゴやゲンジボタルを中心とした野生生物の保護、またその生息環境となる谷津田、河川の保護を目的として設立された。平成10年からは、アカウミガメ上陸産卵調査と海岸の保全活動を行っている。</p>										